

校長室の窓から 284

080904 4年「自然災害からくらしを守る」

4年生の教室では、先日の富山県氷見地区を襲った大雨・土砂災害の新聞記事をもとに授業が行われていました。

なんとタイムリーな授業でしょう。まるで昨日の避難訓練の続きのようです。

これは4年生の社会科「自然災害からくらしを守る」という単元の導入です。身近に起きた氷見市の被災状況を調べることをきっかけに、災害から人々を守る活動について理解を深めることをねらいとしています。

大雨危険警報が出て臨時休校になったのがつい1週間前。子供たちの記憶は鮮明です。

しかし、大雨のことや雷のゴロゴロは覚えていても、被災地の被害の詳細については、あまり知らないことも多く、新聞記事のカラーコピーを真剣に眺める姿がありました。

最近では、新聞を定期購読している家庭が年々減っていますね。子供たちのテレビ視聴の時間も減少し、YouTube等で好きな情報のみを選んで見る傾向が強くなっていると思います。

授業の中で新聞記事を活用することが、改めて効果的でタイムリーな教材になり得ると感じた社会科の授業でした。

今年度は、北日本新聞社様が教育用の学習支援サイトを設け、学校に提供してくださっています。子供たちに、ぜひどしどし活用してほしいものだと思います。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀 かおり

